

令和7年度 公民科

| | | | | | | | |
|-------|---|----|------|-----|-----|----|-----|
| 教科 | 公民 | 科目 | 公民演習 | 単位数 | 2単位 | 年次 | 3年次 |
| 使用教科書 | なし | | | | | | |
| 副教材等 | 最新公共資料集 2024(第一学習社) 最新政治経済資料集 2025 (第一学習社) | | | | | | |

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・国際政治、国際経済を深掘りする科目である。国際社会の一員としての自覚を持ち、自らの権利を知り、守り、その上で義務と責任を果たせる社会人になるためにどうすればいいか主体的に考えを巡らせてほしい。
- ・テレビ、ネットなどの記事からも知識を獲得し、それに基づいて考え、表現する力を身に付けてもらいたい。
- ・教員作成のプリントで授業を行うが、空欄を埋めることだけにとどまらず、説明を聞き、理解した内容、自身で気づいたことなどをどんどん書き込んでいてもらいたい。

2 学習の到達目標

【知識及び技能】

- ・国際政治、国際経済に興味を持ち、グローバルな視点で現在の社会を考え、世界の諸課題の解決に向けた自分なりの考えを持つことができる。

【思考力、判断力、表現力等】

- ・国際収支や貿易統計など多くのデータ分析を行い、思考力・判断力をつける。
- ・現代社会の諸課題に関して、自己の探究成果をプレゼンテーションする機会を設け、表現力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】

- ・現代の政治、経済、特に国際関係に対する関心を高め、平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。

3 評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|---|--|
| 観 点 の 趣 旨 | 現代の政治、経済、特に国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。 諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 | 現代の政治、経済、特に国際関係に関わる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 | 現代の政治、経済、特に国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|------|----------|--|---|---------------|-------------------------------------|--------------------|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 学期 | 国際社会と国際法 | <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会の構成要素 ・国際法とは ・領土問題の発生原因 ・NGOの役割 ・二度の世界大戦が国際法や国際政治に与えた影響 | <p>a:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主権国家と国際社会の成り立ちについて理解している。 ・主権の及ぶ領域について、資料集の図から必要な情報を適切に読み取り、主権国家の理解を深めている。 ・条約の効力について理解している。 ・領土問題がなぜ生じるのか、また、どのように解決することが望まれているのかを理解している。 ・二度の世界大戦を契機として、国際法に大きな変化が生じたことを理解している。 ・NGOをはじめ多様な主体が活動するなど、国際政治に変化が生じていることを理解している。 <p>b:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際政治や国際法はどのようなものなのか、国内政治や国内法との違いに着目してまとめるなど、適切に表現している。 ・領土問題について問いを見出し、平和的に解決する観点から協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。 ・世界政府のような超国家的存在を設けた場合の問題点について、主権国家の権利の観点などから協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。 <p>c:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NGOの取り組みについて主体的に追究し、環境保護や人権擁護に関する課題の解決を意欲的に検討している。 ・よりよい社会の実現を視野に、主権国家間の国家利益を調整することについて学習したことを、他者との利害調整といった社会生活に生かそうとしている。 | 定期考査 確認テスト | 定期考査 確認テスト プリント提出 ワークシート提出 | プリント提出 ワークシート提出 |

| | | | | | | |
|--|------------------|---|---|---|---|--|
| | <p>国際連合と国際協力</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・集団安全保障とは ・国際連盟と国際連合の比較 ・国連主要機関、専門機関の働き ・国連の課題 | <p>a:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際連盟の成立と崩壊の歴史的経緯について理解している。 ・勢力均衡と集団安全保障の違いについて理解している。 ・国際連盟と国際連合の違いについて、資料集から必要な情報を適切に読み取ることができている。 ・安全保障理事会の機能について理解している。また、安保理改革として求められている内容を理解している。 ・国連が取り組む課題について、信頼性の高い情報源から収集し、適切に整理することができている。 <p>b:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際連合が抱えている課題について、採決や財政の観点などから協働的に考察し、それらを適切に表現している。 ・安保理改革の必要性について、大国一致の原則や拒否権の行使の観点から協働的に考察し、それらを適切に表現している。 ・紛争をなくしていくためのルールや制度について協働的に考察し、それらを適切に表現している。 <p>c:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際連合の専門機関が取り扱っている人権や社会、経済や環境問題に関する行動について主体的に追究し、国際的な課題を意欲的に解決しようとしている。 ・国際連合のしくみや取り組みを理解したうえで、国際社会における平和の実現について興味関心をもち、「持続可能な平和のあり方」を探究するための意欲を高めている。 | <p>定期 考 査 確 認 テ ス ト</p> | <p>定期 考 査 確 認 テ ス ト プ リ ン ト 提 出 ワ ー ク シ ー ト 提 出</p> | <p>プ リ ン ト 提 出 ワ ー ク シ ー ト 提 出</p> |
| | <p>こんにちの国際社会</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦終結後の国際社会の変化 ・紛争やテロの背景 ・大国の動向と対立構造の変容 | <p>a:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦構造の概要について理解している。 ・資料集から冷戦終結後に民族紛争が多発したことを適切に読み取っている。 ・国家間の戦争が対テロ戦争の様相を示した経過を理解している。 ・中国やロシアなどの大国が領有権紛争を起こしていることや、中東の民主化運動により地域全体が不安定化していること、米中対立の深化など、今日的な国際政治の課題を理解している。 <p>b:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦終結後に地域・民族紛争が多発したことについて、その要因を多面的・多角的に考察している。 ・冷戦後の「平和に対する脅威」をとりのぞくために何が必要か、といった観点で協働的に考察し、それらを適切に表現している。 <p>c:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会における法の支配について主体的に追究し、各国の国益を超えた問題解決に向けて意欲的に考察している。 | <p>定期 考 査 確 認 テ ス ト</p> | <p>定期 考 査 確 認 テ ス ト プ リ ン ト 提 出 ワ ー ク シ ー ト 提 出</p> | <p>ノ ー ト 提 出 ワ ー ク シ ー ト 提 出</p> |

| | | | | | | |
|-------------|--|---|--|---|---|--|
| 1 学 期 | 日本 の 外 交 と 国 際 社 会 で の 役 割 | <ul style="list-style-type: none"> 戦後の日本外交 日本の国際社会での役割 | <p>a:</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦後の主権回復と国際社会への復帰について、その経過を理解している。 アジア諸国との国交正常化が進められる一方、賠償のあり方をめぐって裁判が繰り返されるなど、根本的な解決には至っていない現状を理解している。 北朝鮮による拉致被害と人権侵害について、国際連合も日本を支持する決議を出しているなど、解決が望まれていることを理解している。 日本が北方領土と竹島において領土問題を抱えていることを理解している。 ODA や PKO などの国際貢献活動について、広く理解している。 <p>b:</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の領土問題について、平和的な解決のために必要なことを多面的に考察している。 世界の平和と安全のために、国連機構や加盟国が果たすべき役割（とくに日本が今後の国際社会で果たすべき役割）について協働的に考察し、それらを適切に表現している。 <p>c:</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際貢献について主体的に追究し、政府レベルや企業レベル、市民レベルの観点から、課題を意欲的に解決しようとしている。 国際社会で日本が果たすべき役割について考察を深めるなかで、国際社会における平和の実現について興味関心をもち、「持続可能な平和のあり方」を探究するための意欲を高めている。 | 定 期 考 査 確 認 テ ス ト | 定 期 考 査 確 認 テ ス ト プ リ ン ト 提 出 ワ ー ク シ ー ト 提 出 | プ リ ン ト 提 出 ワ ー ク シ ー ト 提 出 |
| 2 学 期 | 貿 易 ・ 国 際 収 支 ・ 外 国 為 替 市 場 | <ul style="list-style-type: none"> 自由貿易と保護貿易 国際収支 外国為替市場 | <p>a:</p> <ul style="list-style-type: none"> 自由貿易のメリットを、比較生産費説をもとに理解している。 国際分業の利益について、多国籍企業の展開と合わせて理解している。 保護貿易の提唱理由を理解している。 国際収支表を読み取ることができる。 外国為替のしくみについて理解を深めている。 円高や円安が日本経済に与える影響について、輸入業者や輸出業者の具体的な取引をもとに理解している。 <p>b:</p> <ul style="list-style-type: none"> 自由貿易が世界全体の発展に寄与するという仮説が適切かどうか、協働的に考察し、それを表現している。 日本経済にとって、円高傾向がよいのか円安傾向がよいのかについて、協働的に考察し、それらを適切に表現している。 <p>c:</p> <ul style="list-style-type: none"> 自由貿易推進のメリットと、近年先進国が保護貿易的な動きを見せていることについて主体的に追究し、望ましい貿易のあり方を意欲的に探究しようとしている。 円高や円安が輸出輸入価格に影響することを踏まえて、円相場の変動にあわせて輸入品や外国株式の購入時期を検討しようとするなど、社会生活に生かそうとしている。 | 定 期 考 査 確 認 テ ス ト | 定 期 考 査 確 認 テ ス ト プ リ ン ト 提 出 ワ ー ク シ ー ト 提 出 | プ リ ン ト 提 出 ワ ー ク シ ー ト 提 出 |

| | | | | | | |
|--|---------|--|--|-------------------------------|---|--|
| | 戦後の国際経済 | <ul style="list-style-type: none"> ・IMF体制の変遷 ・WTOの課題 ・多国間交渉 | <p>a:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IMF と GATT に代表される国際経済体制について、その概要を理解している。 ・ 固定為替相場制から変動為替相場制へと移行した歴史的な経過について理解している。 ・ GATT、WTO における多角的交渉が目指したものについて理解している。 <p>b:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ドーハラウンドにおける協議がなぜ停滞しているのか、多面的に考察している。 ・ 公正な国際貿易体制とはどのようなものか、協働的に考察し、それらを適切に表現している。 <p>c:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ WTO が国際経済体制に果たす役割について主体的に追究し、ドーハラウンドが抱えている課題を意欲的に解決しようとしている。 ・ 公正な国際貿易体制のあり方について主体的に追究し、各国が従うべき貿易のルール作りに関する課題を意欲的に解決しようとしている。 | 定期 考 査 確認テ スト | 定期 考 査 確認テ スト プリン ト 提出 ワー クシ ート 提出 | プリン ト 提出 ワー クシ ート 提出 |
| | 国際経済の動向 | <ul style="list-style-type: none"> ・経済統合 ・貿易協定 ・新興国の台頭 | <p>a:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FTA や EPA がどのようなものであるのかを理解している。 ・ EU を例として、どのように統合が深化していったかを理解している。 ・ 各地域でどのような経済統合が形成されていったかについて理解している。また、経済統合地図資料から情報を読み取り、地域的経済統合についての理解を深めている。 ・ 世界経済が密接に関連しあい、グローバルバリューチェーンを形成していることを理解している。 ・ 新興国の中でも、とくに中国とインドが世界的な影響力を強めていることを理解している。 ・ 急速な経済成長を進める中国とインドが、国際経済のなかで直面している課題について、信頼性の高い情報源から収集し、適切に整理することができている <p>b:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ EU の統合について課題を見出し、各国の経済的格差の課題などについて協働的に考察し、適切に表現している。 ・ TPP11 が日本経済にもたらす影響について、多面的に考察している。 ・ 地域的経済統合がもつメリットとデメリットについて、自由と公正の観点から協働的に考察し、適切に表現している。 <p>c:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ EU の統合について主体的に追究し、そのなかで生じたイギリスの離脱に見られるように経済統合のひずみをどのように解消するかを意欲的に検討している。 ・ TPP11 や RCEP について主体的に追究し、今後の日本が各国との貿易においてどのように主導的な役割を果たしていくべきか、意欲的に検討しようとしている。 | 定期 考 査 確認テ スト | 定期 考 査 確認テ スト プリン ト 提出 ワー クシ ート 提出 | プリン ト 提出 ワー クシ ート 提出 |

| | | | | | | |
|-------------|----------------------|---|--|----------|--------------------|--------------------|
| 3 学 期 | 現代社会の諸課題をテーマにした探究と発表 | <ul style="list-style-type: none"> ・資料の選定と収集 ・プレゼンテーション ・ディベート ・小論文の書き方 | <p>a:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各課題に関連する知識(小学校および中学校で習得した概念などに関する知識や『公共』で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方、国際政治および国際経済の基本的な概念や理論など)を整理し、理解している。 ・各課題の解決に向けた考察、構想に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 ・スライドの作成、パソコンの操作などプレゼンテーションの基本的な技能を身につけている。 ・ディベートの基本的なルールを理解している。 <p>b:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的な見方、考え方を総合的に働かせ、各課題の解決策を多面的・多角的に考察、構想し、持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明、論述している。 ・高校生同士の発表であることを踏まえ、わかりやすく表現できている。 <p>c:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現のために、国際社会の諸課題を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。 ・時間をかけて探究し、しっかりと自己の主張がプレゼンされている。 ・ディベートにおいて、他者の意見を尊重しながらも、自己の意見をはっきりと述べている。 | ワークシート提出 | ワークシート提出 発表原稿提出 | ワークシート提出 発表原稿提出 |
|-------------|----------------------|---|--|----------|--------------------|--------------------|

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度